

PAT-NO: JP405068745A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05068745 A  
TITLE: FUNCTIONAL INDEPENDENT PINBALL  
MACHINE  
PUBN-DATE: March 23, 1993

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
TAKEUCHI, MASAHIRO  
WAKANA, YOSHIO  
TAYUI, MAKOTO  
TAKEUCHI, HIDEKATSU

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
KK TAKEYA N/A

APPL-NO: JP03234317  
APPL-DATE: September 13, 1991

INT-CL (IPC): A63F007/02, A63F007/02 , A63F007/02 ,  
A63F007/02 , A63F007/02

US-CL-CURRENT: 273/121B

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an epoch-making playing device with a simple configuration which allows itself to be easily installed by building all related parts involved in the operation of pinball machines into an independent installation frame so that the device and related parts are integrally formed.

CONSTITUTION: A functional independent pinball machine 1

is hinged to a front frame door 3 provided with a mechanism for providing from the behind a single pinball machine 2 at the front central part of a frame 20 and has a counter 4 with a return ball count device 8 provided in the front frame door 3 so that the counter 4 can be easily removed. A closing door 10 with a fencing part 11 is provided at the waist part of the frame 20 in a manner that the door 10 can easily be opened and closed and a lighting device 15 and a calling device are formed at the top of the frame 20. The pinball machine 2 includes a polishing device and a ball collection mechanism which are linked, has internally provided a count managing computer and a deposit ball receipt issuance mechanism, and is formed so that the computer and a power line can be connected to a main line. This allows an epoch-making island configuration which is very effective in economic and industrial terms.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-68745

(43)公開日 平成5年(1993)3月23日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 F 7/02	3 4 9 Z	9113-2C		
	3 3 2 B	8804-2C		
	3 4 2	9113-2C		
	3 5 0 Z	9113-2C		
	3 5 1 A	9113-2C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

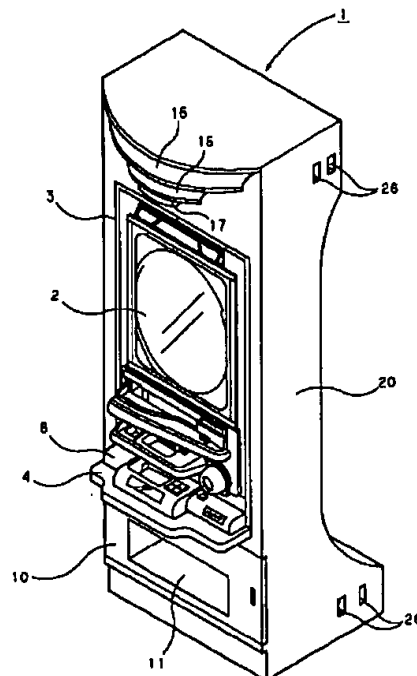
(21)出願番号	特願平3-234317	(71)出願人	000150051 株式会社竹屋 愛知県名古屋市中区栄4丁目6番9号
(22)出願日	平成3年(1991)9月13日	(72)発明者	竹内 正 博 愛知県春日井市美濃町二丁目102番地
		(72)発明者	若 菜 芳 生 愛知県春日井市稲口町441番地
		(72)発明者	田 結 誠 東京都中野区新井四丁目4番3号
		(72)発明者	竹 内 英 勝 愛知県春日井市東野町西二丁目14番地の15

(54)【発明の名称】 機能単独型パチンコ装置

## (57)【要約】

【構成】 機能単独型パチンコ装置1は枠組20の前面中央部に1台のパチンコ機2を裏面より装設する機構を設けた前枠扉3を蝶着し、該前枠扉3には返却球計数装置8を装着したカウンター4を着脱自在に設け、該枠組20腰部に棚部11を設けた開閉扉10を開閉自在に装設し、該枠組20上部に照明装置15、呼出装置16を形成し、パチンコ機2に研磨装置と玉の集配球機構を連系させて装置し、パチンコ玉の計数管理コンピューターと預り玉レシートの発行機構を内装し、該コンピューター、電源線を主線に連結可能に形成した構成の機能単独型パチンコ装置。

【効果】 パチンコ機単体で遊技球の貸出と、遊技後の賞球返却による預り球の記録レシートの発行迄を行う装置と、遊技球の玉磨を含む一定数の循環機構を形成。呼出照明装置と遊技状況を管理するコンピューターを台別で内装した機枠を自在に連結出来るように形成し、パチンコ機の配列を自由選択出来る効果。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】パチンコ機の遊技球を計数管理し、集配給する機構において、

パチンコ機単位で装設する略長方形の枠組を連結、固定自在に形成し、該枠組正面に前枠扉を蝶着し、中央部にパチンコ機を額縁状に着脱自在に装設可能に形成し、該前枠扉のカウンター上に返却球計数装置を装着し、該前枠扉の下に棚部を設けた開閉扉を開閉自在に形成し、

該前枠扉上部に照明、呼出機構を形成し、該枠組内に一定量の玉がパチンコ機及び返却球計数装置を經由して自動循環するようになり、循環玉を区別でコンピューター管理し、表示、プリンター機構と連動するよう構成した機能単独型パチンコ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、パチンコ機稼働に関するすべての関連装置を各台別の単独装置内蔵型となして自在に連結可能に構成したことを特徴としたパチンコ装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のパチンコ島台構成は、ホールのパチンコ機設置台数及びホール状況によって、オリジナル設計が通常で、従って島交流装置が各々異なる為、均一した規格製品での島台製造が不可能であった。その為、ホールの設計図完成後に島台製造着手と手儀なくされ、短期間での製造台数も限定されていた。また島台形成においても複雑作業工程で多くの人手と工事期間を要した。例えばパチンコ島台製造手段として、予めパチンコ機収容台数に対応して1島台単位(6台、4台、2台等)の木枠組を形成し、1島台の設置総台数に応じて複数連結し一連状の島台を形成する。

【0003】さらに島台中央に大型玉磨揚送装置を配備し、該玉磨揚送装置に関連して、上部に補給タンク、下部に大型貯留タンクを設け、各パチンコ機から排出される球を、島交流装置で円滑に循環する装置は、必要以上の玉量と大掛かりな装置をオリジナル製品とする製造手段は量産不可能で経済性および作業性においても問題が多かった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、パチンコ機稼働に付随するすべての関連部品をパチンコ機単独設置用枠組内に内蔵装備し、一体形成とすることでいかなるホール状況に関係されることなく、簡略、据置型構成とした画期的な遊技装置を提供し、均一化した規格製品で、量産体制可能とするものである。

## 【0005】

【課題を解決する手段】前記した目的を達成するために本発明に係る機能単独型パチンコ装置は、パチンコ機単

2

位で装設する略長方形の枠組を連結、固定自在に形成し、該枠組正面に前枠扉を蝶着し、中央部にパチンコ機を額縁状に着脱自在に装設可能に形成し、該前枠扉のカウンター上に返却球計数装置を装着し、該前枠扉の下に棚部を設けた開閉扉を開閉自在に形成し、該前枠扉上部に照明、呼出機構を形成し、該枠組内に一定量の玉がパチンコ機及び返却球計数装置を經由して自動循環するようになり、循環玉を区別でコンピューター管理し、表示、プリンター機構と連動するよう構成したことを特徴とするものである。

## 【0006】

【作用】枠組20にパチンコ機2の稼働に付随するすべての部品を内蔵し、枠組20の側面に設けた連結部26及び固定部27で任意な配列で設置構成する。パチンコ機2の交換、保守の場合前枠扉3を開放し着脱自在とする。また、遊技者の遊技状態に基づき返却球計数装置8で計数管理される。また、貸玉、及び賞球としての循環玉をコンピューター手段で区別管理するよう構成されている。パチンコ機2から排出される球はアウト球受口21に集積され、研磨装置22、揚送機23を經由して上部タンク24へ流入し、パチンコ機2の賞球タンク25へ導入される。

## 【0007】

【実施例】以下図面を参照して本発明を詳細に説明する。図1は、機能独立型パチンコ装置1(以下パチンコ装置と略称)の全体斜視図を示し、図2は、パチンコ装置1のパチンコ機2の取付部とする前枠扉3を開放した図を示す。

【0008】パチンコ装置1の構成についてさらに詳述すれば、略パチンコ機2横幅で、断面略長方形形状に枠組20を形成した箱体の前面を装飾板で被覆し、その中央部にパチンコ機2の取付部を開口形成する。開口部を閉塞する前枠扉3の1側を軸支して開放自在に蝶着する(図示省略)。前枠扉3は額縁状に形成され、通常のパチンコ機2を装置可能とし、返却球計数装置8をカウンター4上に一体的に取付けられる。前記した返却球計数装置8は、下皿に対応して形成されカウンター4に載置、あるいは図5に示すように大型形状で形成し、計数手段、表示手段、印字手段、精算手段、レシート発行手段で計数管理をするように形成されている。一方前記パチンコ機2の交換取付の際は前枠扉3を開放し裏面側から自在に着脱可能構成となっている。つぎに前枠扉3の下面に故障の際修理作業を容易とする開口部を設け、開閉扉10は一侧を軸支し開放自在に蝶着する。尚図示では一方向の開放説明であるが開放状態は限定するものでない。また開閉扉10の表面側に棚部11を囲設形成する。

【0009】さらに枠組20の最上部に照明装置15を形成し、略段状で呼出装置16、特賞フラッシュ17を一体的に形成する。照明装置15の形状、照明手段は、

本発明では筒円状装置で説明するが、装飾効果を高める形状等自在に選択可能形成とする。

【0010】つぎに図2乃至図3に基づき裏面構造を説明する。前記した返却球計数装置8から放出された球を集積するアウト球受口21を形成し、アウト球受口21に当接連通して水平方向に研磨装置22（図示省略）を設け、研磨装置22の終端からパチンコ機2の一端部を垂直で上昇する揚送機23を立設形成する。揚送機23の終端部に上部タンク24を設け、上部タンク24から賞球タンク25へ球を導入するよう構成されている。

【0011】尚遊技に必要とする最少限の玉数を装置に収容し、コンピューター制御手段で貸玉及び賞球として循環球を区別管理し、遊技者に一旦供し、そして返却により即回収する循環機構を要旨とするものである。

【0012】以上のようにパチンコ遊技に関する機能を単独枠組20に搭載した遊技装置を形成し、枠組20の側面部に連結部26を複数箇所形成し、該枠組20の下面部に固定部27を各々形成し、図6図7に配置例を示したがホール状況に対応して自在に据置、連結し一連長手方向任意台数でのパチンコ機列を構成するものである。

【0013】

【発明の効果】以上の説明で明らかなように、本発明の各台ごとの機能単独型パチンコ装置にすることで、以下の効果を奏する。

1. ホール内状況に限定なく単体装置を自在に連結できる規格製品で島台構成が可能で量産体制がはかれる。従来ホールのように直列的装備でなく、波状等装置選択が可能でバラエティーに富んだホール提案が出来る。

2. 量産体制に基づき人件費、そして誰でも組立出来るキット方式で製造期間の大幅な緩和。

3. 部備品の減少による製造単価の削減。

4. 島台搬入作業、設置作業の簡便性がはかれ、保管場所も多く必要としない。

5. 装飾部分のグレードアップと個性化が選択可能。

以上経済的、産業的に付与する効果は甚大となり、従来にない画期的な島台構成を提供するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例に係る機能独立型パチンコ装置の斜視図である。

【図2】実施例に係る内部構造を示す斜視図である。

【図3】実施例に係る内部構造を示す斜視図である。

【図4】実施例に係る裏構造を示す正面図である。

【図5】本発明他の実施例を示す斜視図である。

【図6】本発明の配置例図1である。

【図7】本発明の配置例図2である。

【符号の説明】

1・機能独立型パチンコ装置、

2・パチンコ機、

3・前枠扉、

4・カウンター、

8・返却球計数装置、

10・開閉扉、

11・棚部、

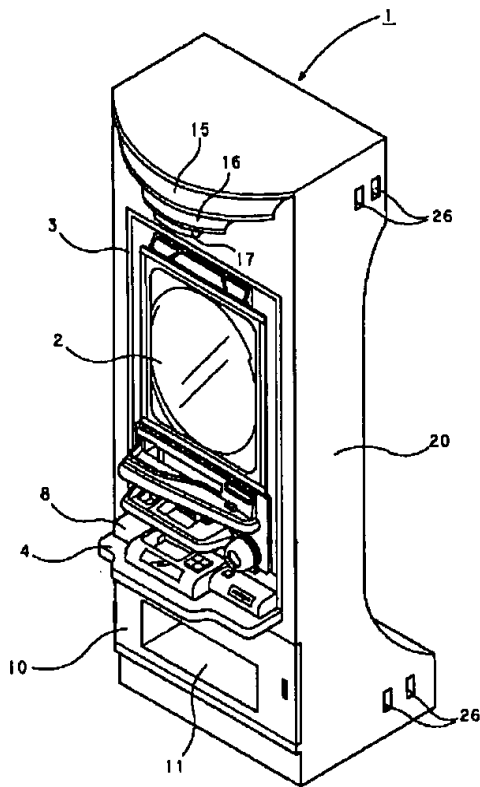
20・枠組、

22・研磨装置、

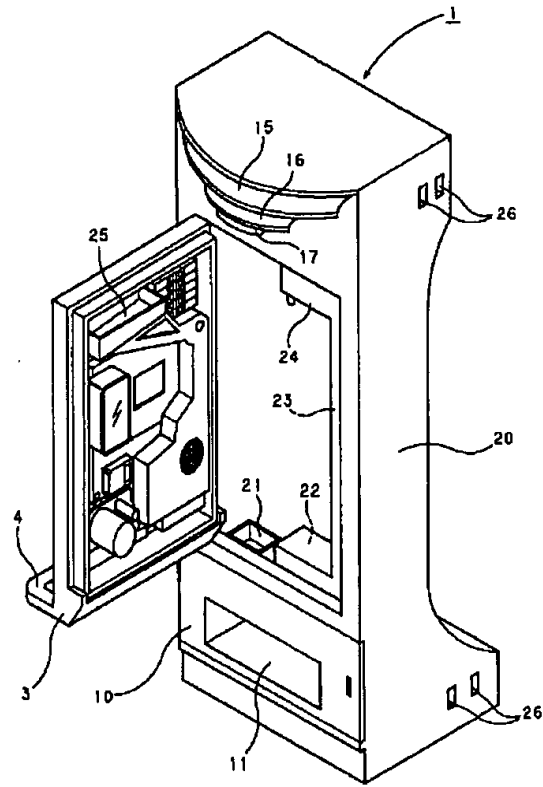
23・揚送機、

26・連結部。

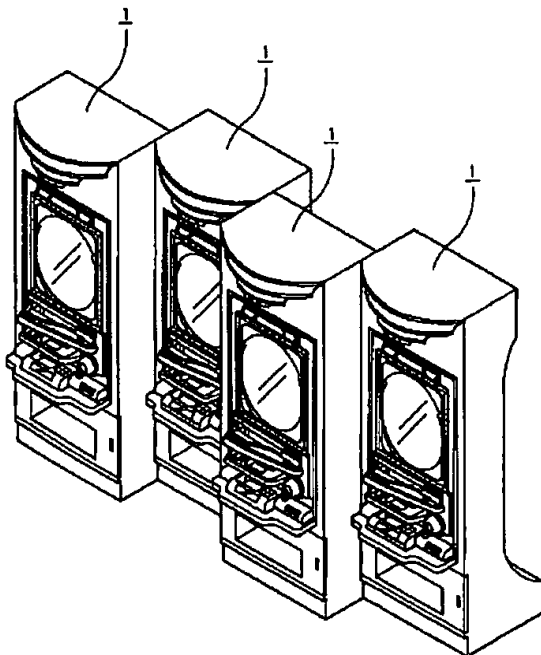
【図1】



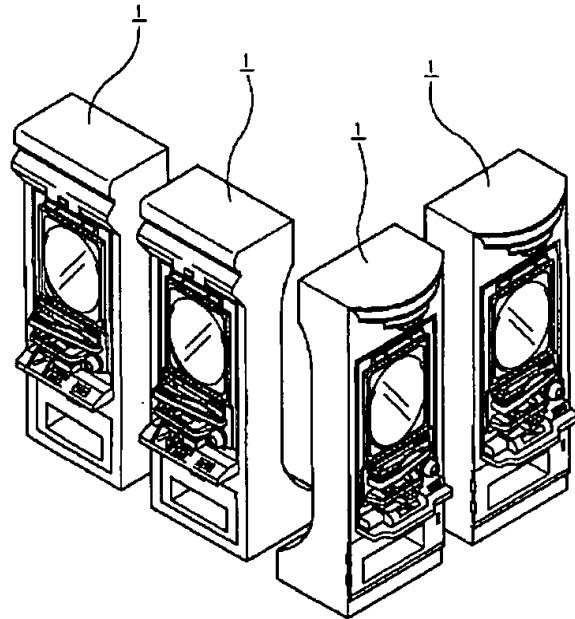
【図2】



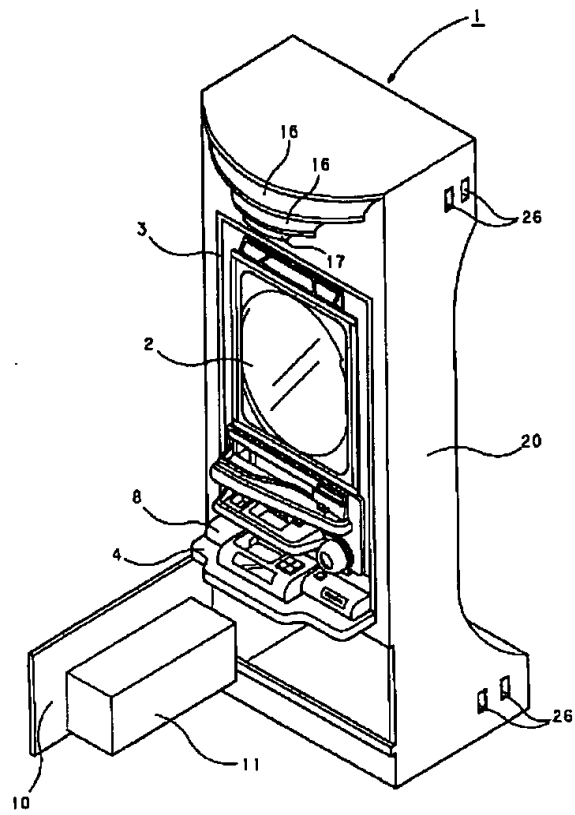
【図6】



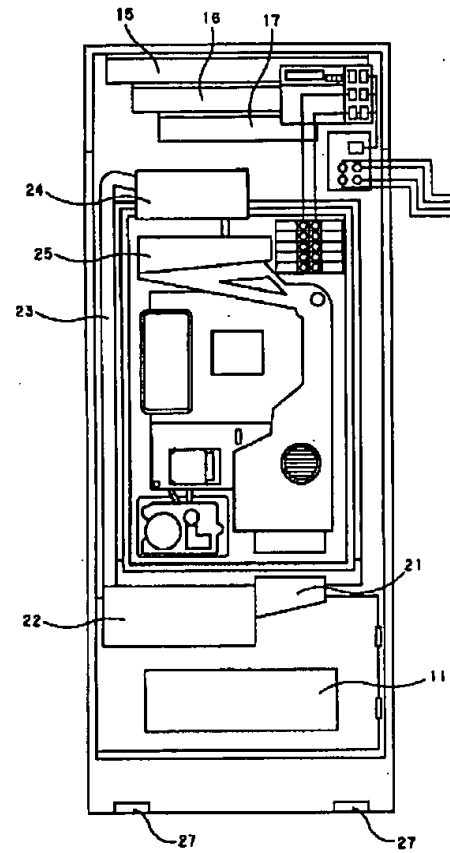
【図7】



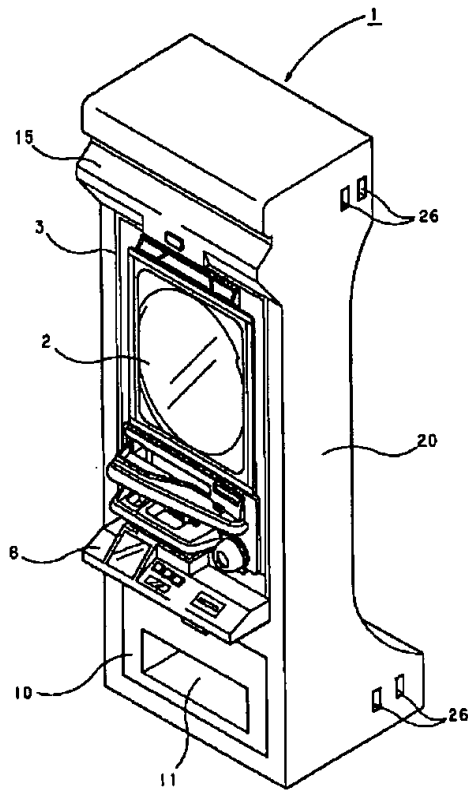
【図3】



【図4】



【図5】



## 【手続補正書】

【提出日】平成4年12月4日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例に係る機能単独型パチンコ装置の斜視図である。

【図2】実施例に係る内部構造を示す斜視図である。

【図3】実施例に係る内部構造を示す斜視図である。

【図4】実施例に係る裏構造を示す正面図である。

【図5】本発明他の実施例を示す斜視図である。

【図6】本発明の配置例図1である。

【図7】本発明の配置例図2である。

## 【符号の説明】

1・機能独立型パチンコ装置、

2・パチンコ機、

3・前枠扉、

4・カウンター、

8・返却球計数装置、

10・開閉扉、

11・棚部、

20・枠組、

22・研磨装置、

23・揚送機、

26・連結部。